

つくば養護学校の早急な教育環境改善の申し入れ（09年12月28日）

茨城県教育長 鈴木 欣一 殿

茨城県議会議員	大内 久美子
同	山中 たい子
つくば市議会議員	橋本 佳子
同	田中 サトエ

5年間の「県立特別支援学校整備計画」が発表されました。計画には児童生徒数が毎年増加していることにもない、結城養護学校の分離新設やスクールバス運行の一部改善などが盛り込まれました。いずれも長年の父母などの強い要望に応えたものです。さらに増えてきた小中学校、高校などの相談・支援に対し、特別支援学校のセンター的機能を一層強化することは重要です。

ところが、児童生徒数の増加が激しいつくば養護学校について、「最大で370人まで受け入れ可能。今後の児童生徒数の推移を見極める」と何らの対応策も示しませんでした。教育行政の責任が問われます。

開校3年目の今年度の児童生徒数は301人で、開校時の1.5倍です。多目的室やグループ室などを開校時から普通教室に転用するなどし、13教室が不足しています。新たな対応策をとらない限り、不足教室は解消されるどころかますます増えることとなります。

スクールバスは今年2台増車しましたが、90分コースが残されました。また、学校給食は、障がいの重度・重複化がすすむなか、個々に応じた給食がより求められます。6人の栄養職員で470食を調理していますが、急増する食数への対応は困難です。

つくば養護学校の教育環境改善について、下記のとおり申し入れます。

記

1. つくば養護学校を分離新設すること。
2. スクールバスの運行を60分以内に改善すること。
3. 安定的に学校給食が提供できるよう体制を整備すること。

以上